

# 今こそ企業とNPOの協働に注目!



人もお金もうごいた!!  
協働の核心に迫る!!



NPOは営利を目的とせず、社会をよりよくしようとする人の集まりであり、行政や企業とは別の立場から、市民の視点で柔軟に活動できるので、細やかなニーズに対応できるという特徴がある。高知のNPOはまちづくり・地域づくり、環境、国際、高齢者、障害者、災害支援などさまざまな分野で活動を展開しているが、このようなNPOが活動を継続し、活動を広げるためには、多くの方々からの応援や支援が必要である。

今回はそのなかでも、高知県内の企業とNPOの協働の事例を取り上げている。掲載している活動は、子どもたちの活動、被災者を支援する活動、環境を守る活動、資源循環のしくみなど多様な事例であり、これらの事例には、それこれらに取り組むべき課題がある。企業とNPOのコメントや「協働のポイントはココ!」の欄をお読みいただければ、協働

はますます盛んになっている。高知県には300を超えるNPO法人が設立され、任意団体を合わせると600以上のNPOが活動している。また税制優遇を受けられる認定NPO法人も2012年に第1号が誕生して以来、毎年増え続けている。

**2015年3月発行**  
企業・NPOパートナーシップ委員会  
**企業とNPOの協働のお問い合わせは…**  
■事務局  
高知県ボランティア・NPOセンター  
高知市朝倉戸375-1  
高知県立ふくし交流プラザ4階  
電話:088-850-9100  
FAX:088-844-3852  
メール:kvinc@pippikochi.or.jp  
高知市市民活動サポートセンター  
高知市鷹匠町2丁目1-43  
高知市たかじょう庁舎2階  
電話:088-820-1540  
FAX:088-820-1665  
メール:info@shiminkaigi.org

## 掲載している企業とNPOの協働事例(8事例)

こどもが運営するまち「とさっ子タウン」	協賛企業46企業と認定NPO法人NPO高知市民会議
高知のびのび青空キャンプ応援寄付つき商品販売キャンペーン	(株)土佐山田ショッピングセンターとえんじよいんと香美
地域通貨券[モリ券]運用事業	(株)サンシャインチェーン本部・(株)サニーマート 仁淀川流域小売店舗他とNPO法人土佐の森・救援隊
東北新聞ばっぐプロジェクト	(株)高知銀行とNPO法人RIVER・海の手山の手
チャイルドラインこうちプロジェクト	企業・NPOパートナーシップ委員会とチャイルドラインこうち
小さな村のパスタソース	(株)サニーマートとNPO法人日高わのわ会
天国からの「寄付ふと」	寺村葬儀社と認定NPO法人NPO高知市民会議
企業・NPO資源循環システム	企業・NPOパートナーシップ委員会と企業とNPO

するために必要なことがみえてくるだ  
ろう。  
ぜひこの企業・NPOパートナーシッ  
プ情報増刊号をきっかけにして、さらに  
企業とNPOの協働が広がり、それが高  
知をもっと住みやすく、すてきなまちに  
する活動へとつながっていくことを  
願っている。



とさっ子タウン  
2015年  
8月22・23日開催!!





とさっ子タウン2014集合写真



とさっ子議会



とさっ子タウン2014協賛企業一覧(五十音順) とさっ子議会選挙活動

資金提供	物品提供	人材派遣
(有)安藤商店 一宮生コンクリート(株) (有)イワサキコーポレーション (株)ウイル (株)岡村文具 (株)高知銀行 公益社団法人高知法人会 五台山竹林寺 サンピアセリーズ (株)四国銀行 四国電力(株)高知支店 TeppanDining ミヤタヤ 土佐ガス(株) バールバッフォーネ (株)モデルビレッジ 宮地電機(株)・ラヴィータ(株)	アクアショップマインド 旭食品(株) (有)あぜち食品 (有)高知事務機 コミュニティセンターうまじ馬路温泉 (株)サニーマート 老舗中納言 澁谷食品(株) (株)四十万ドラマ (株)浜幸 ハマヤ(株) はるのハーベスト ハンズコマドリ土佐道路店 ひまわり乳業(株) ブチ・グラス フルーツの大橋屋	NHK高知放送局 (株)高知銀行 高知県交通(株) 高知新聞社 (株)四国銀行 竹虎(株)山岸竹材店 土佐電気鉄道(株) 花と器 SUMI (株)ビバ沢渡 (株)フタガミ 毎日新聞高知支局 松田医薬品(株) M I E T T E 読売新聞高知支局 宮地電機(株)・ラヴィータ(株) 料亭濱長 (株)わらびの

**人材派遣**

とさっ子タウンには約40種類の仕事があり、こどもたちにより現実に近い体験をしてもらうために、企業から専門家として社員を派遣してもらっている。たとえば「とさっ子銀行」は(株)四国銀行、「とさっ子新聞社」は高知新聞社・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局、「とさっ子放送局」はNHK高知放送局、「Bar」は(社)日本バーテンダー協会高知支部など約32企業からの人材派遣。

**物品提供**

とさっ子タウン内で必要なコピー機や印刷機は(有)高知事務機から無償貸与。こどもたちが働いたお金で飲食するお菓子やジュース、パン、アイスクリームなどは、(株)サニーマート、(株)浜幸、ひまわり乳業(株)など約12社からの無償提供。

**資金提供**

一口30,000円を基本とし、協賛金を募っている。2014年度は16企業より約660,000円の協賛金が集まつた。

異年齢間のこども同士のコミュニケーションの場や生まれ育った地域に対する誇りを持てるように、「きっかけ」をつくることを目的に、10～15歳（小学校4年生～中学校3年生）のこどもを対象に、こどもが運営するまち「とさっ子タウン」が2009年から毎年1回のペースで開催されている。

「とさっ子タウン」では、市役所、税務署、銀行、ハローワーク、新聞社、放送局、警察署、消防署、病院や飲食関係の仕事、創作関係や娯楽関係の仕事をこどもたちがそれぞれの専門家から教わりながら体験するとともに、市長選挙等の政治や都市運営など、こどもたちが協力しないながら、自分たちでまちをつくることができ、変えることができるということを体験してもらうことを目指している。

2014年8月に実施した「とさっ子タウン2014」には、こども406名、専門家130名、ボランティアスタッフ140名が参加した。

「とさっ子タウン」は企業からの支援がなくては開催できない。支援はこどもたちに仕事を教える専門家としての「人材派遣」、こどもたちが買い物を楽しむための「物品提供」、事業を支えるための「資金提供」などが挙げられる。

「とさっ子タウン」は企業からの支援がなくては開催できない。支援はこども達の無限の可能性を感じ、思わずうれしくなってしまうからです。多くの企業、NPO、ボランティアが一体となって地域の将来を担うこども達と一緒に過ごす2日間は、我々企業の人間にどうも貴重な体験になります。これからも様々な支援をしていただいている企業に対して、「とさっ子タウン」がさらに発展していくことを願っています。

そう思うように「とさっ子タウン」がさらに発展していくことを願っています。

(株)四国銀行 門田 芳穂さん

多くの企業がこの事業に協賛している。理由として考えられるのは、支援の力が多様にあり、各企業が無理なくできる範囲の支援を選択できている点だ。また、協賛企業の社員が当日参加し、参加者のこどもたちに接する機会があることも、お金やモノだけを提供するだけではない、一緒に事業をつくりあげるという魅力につながっているのではないか。これらのことから、支援の継続性につながり、支援の輪が年々広がっているポイントと考える。



とさっ子電鉄

### 協働のポイントはココ!

「高知市市民活動サポートセンター」の運営に携わるとともに、「自分の得意分野を社会に生かしたい」、「ボランティアに参加したい」、「仲間を集めて社会活動をしたい」、「なにか社会貢献をしてみたい」などの個人や団体の活動を支援するさまざまな活動を行っている。

◆ 団体紹介  
認定NPO法人  
NPO高知市民会議

# 協賛企業数が倍増!

企業それぞれが「とさっ子タウン」の趣旨に賛同し、「人材派遣」、「物品提供」、「資金提供」の中から、自社でできる範囲の支援を選択している。

いろいろな支援のカタチが示せる事業、また多種多様な企業から支援していただける事業として発展することを目指している。

とさっ子タウンは、企業をはじめ行政やNPO、学生など多くの協力者が集まり開催できています。

◆ 協働の実績  
(2014年度実績)  
・連携企業 46社  
・寄付金額 66万4325円

# 日常生活に身近な スーパーで できるNPOとの連携



高知のびのび青空キャンプの様子

**【企業からのコメント】**  
寄付つき商品の目標販売点数は8万個でしたが、11万個を超える予想以上の結果でした。これはキャンプの趣旨や寄付つき商品の取り組みに対して、お客様が共感している。



えんじょいんと香美 新井 康子さん

**【NPOからのコメント】**  
①イメージをシンクロさせることで、イメージを重ねやすいこと、食材が登場する機会が多いこと、  
②購買運動型寄付（寄付つき商品）は生活に身近で、一点単価も買いやすく相談を持ちかけたこと。



買やすい身近な商品を購入することで寄付につながる



店内の各所に寄付つき商品販売期間中であることを掲示してお客様にアピール



# 高知のびのび青空キャンプ応援寄付つき商品販売センターとえんじょいんと香美

香美市を中心に活動する子育て支援団体「えんじょいんと香美」と香美市社会福祉協議会が共同で開催する親子キャンプ、それが「高知のびのび青空キャンプ」だ。参加者は福島県を中心とした東日本において住まいの家族で、目に見えない放射線に不安を抱えながらの日常生活を余儀なくされているご家族にもらいたい、ということを目的とした夏休み保養キャンプである。

「このキャンプの開催費用を寄付してもらえないですか?」と株土佐山田ショッピングセンターの石川社長と打ち合わせをしていた時に、単なる寄付ではなくて「青空キャンプ開催」と「寄付金募集」の両方を広報しながら寄付を集める手法として「高知のびのび青空キャンプ応援寄付つき商品販売センター」が立ち上がった。

土佐山田ショッピングセンター全店(3店舗)で、お買い上げ1点に

つき1円の寄付金を販売価格に含め、寄付つき商品を販売した。期間は2014年6月20日~7月30日まで、対象商品は43品目で実施した。期間中に新聞折り込みチラシの中にも掲載し、「お母さん業界新聞高知版」にも広告を掲載した。店内では、寄付つき商品を一覧できるポスターを作成し、各商品にも「寄付つき」であることを表示した。

結果、期間中の寄付金総額は3店舗合計1115,974点で1115,974円の寄付金となった。11万点を越えるお買い物の機会で、キャンプの存在が広報できたこと、寄付でかかるなら買い物してみよう!という寄付の動機が買い物の動機にも繋がったこと等、新しい取り組みとしては大きな成果につながった。

8月31日にはバリューかがみの店舗内で、キャンプ主催者の皆さんに開催内容の報告会を実施し、支援を申し上げた。その様子がわかるように、写真を入れた報告書を全店の店内飲食コーナーに掲示している。

## 高知・のびのび青空キャンプin香美 応援寄付つき商品販売キャンペーン

期間：7月30日(水)まで



スーパーのスタッフの方の顔写真つきでこだわりの品質重視商品を寄付つき商品としてお勧め

い値段で、消費速度の早い商品が最適であること。  
今回は、豆腐や卵、もやし、トイレストペーパーなどの消費速度の早い商品を選択している。また、スーパーで、放射線の影響に不安を抱えるご家族に対し、「少しでも力になれることはないか?」と高知でできる支援を考え、取り組んでいます。



高知工科大学の学生スタッフ手作り募金箱

◆協働の実績	
えんじょいんと香美	(2014年度実績)
寄付金額	11万5974円
連携企業	1社



チェーンソーの使い方を学ぶ

企業との協働はモリ券利用者の広がりと利用枚数の加速化につながることとともに、環境(森林整備)への関心向上につながった。森林整備の参加人数も増え、対価として配布されるモリ券の獲得を喜ぶとともに、それを地域で使用することへの誇り(地域経済に寄与しているという)を持つことによる満足度も得ることができていい。

課題は、モリ券発行原資の獲得である。ここ近年は、年間約5,000

**地域通貨券「モリ券」運用事業**  
**(株)株式会社サンシャインチエーン本部・(株)株式会社サニーマート**  
**仁淀川流域小売店舗他とNPO法人土佐の森・救援隊**

士佐の森・救援隊では、環境整備

と地域振興の架け橋となる「モリ券(地場産品交換券)」を発行している。

当団体独自のシステムによるオリジナル地域通貨券で、森林整備で流した汗の代償として配布されるしきみである。

モリ券が地域(仁淀川流域)内で流通することにより、地域において幅広い交流をサポートし、地域産業の振興・地場産品の消費につながり、地域経済の浮揚の一端を担っている。このしくみに賛同する仁淀川流域の個人商店(40数店舗)との連携によってはじめられ、その後、企業の共感につながり、地元企業である(株)サンシャインチエーン、(株)サニー、マートとの連携に至った。(ただし、両企業ともモリ券利用店舗は、仁淀川流域内店舗に限ることとしている。)

葉の発行(500万円)となり、原資の獲得に毎年、苦慮している。対策として、企業はもちろんのこと個人からの寄付金・協賛金を広く募っている。

**【企業からのコメント】**  
 毎月、多くの方からモリ券で買い物をしていただき、売り上げに貢献していただいている。また、当店の商圈外からのお客様の利用が多いことから新たな商圈につながっており、喜ばしいことがあります。

(株)サンシャインチエーン  
 ラヴィーナ店

**【NPOからのコメント】**  
 NPO法人土佐の森・救援隊  
 四宮 成晴さん  
 モリ券が旅をするーのスローガンのとおり、モリ券は地域間を旅します。そしてその旅の過程で様々な組織、市民が関わりを持ちます。誕生時の発行原資の協力、旅の出発点となるボランティアへの参加、途中で立ち寄る利用店、最後に帰ってくるNPO、モリ券は誰でも、どちら向からでも関わることができます。森林整備、地域産業の振興、地場産品の消費、地域交流のサポート等の一翼を担うことができます。



**モリ券が旅をする！**

モリ券協販店が、地場産品と交換したモリ券を現金精算せずに、それを他のモリ券協販店で利用することができます。モリ券が地域内を巡回します。



**◆協働の実績**  
 (2014年度実績)

**●団体紹介**  
**NPO法人  
 土佐の森・救援隊**

森林ボランティア活動を林業の入口とし、林業への間口を広げ、参入しやすい林業のしくみ(自伐型林業推進)を提供し、地域雇用の倍増、森林、林業及び山村再生を目的に活動している。主な活動には、自伐型林業、自伐型林業推進活動、「副業型養成塾」定期的開催、「土佐の森方式」全国展開、地域通貨「モリ券」の発行、森林環境教育、薪製造・利用、森林ツーリズム等がある。

**●連携企業**  
 三井物産株、  
 三菱商事株、  
 西日本高速道路株

**●寄付金額**  
 70万円

# ビジネスパートナー連携 東北新聞ばっぐプロジェクト

(株)高知銀行とNPO法人RIVER、海の手山の手

東北の復興を目指している宮城県の海の手山の手ネットワークが「新聞ばっぐ」に興味を持ち、「株四万十ドラマ」に相談を行ったことがきっかけとなり始まった取り組みである。そこで「株四万十ドラマ」の関連法人であり、新聞ばっぐを手がけているNPO法人RIVERが中心となり、この取り組みのサポートを行った。

NPO法人RIVERでは、東北地域での実情をふまえ、東北地域で求められているサポート体制を整える必要があった。ここで求められたのは「支援」ではなく「ビジネス

パートナー」としての連携であり、取り組みに賛同の得られる企業を探す必要があった。そのため、新聞ばっぐのクリエイティブアート性を向上させ、ステーションナリーとして提案し企業との連携を図ることを目指した。

東北地域の実態や課題などについて伝え、本プロジェクトをPRすることにより、(株)高知銀行の協力も得られ、新聞ばっぐが(株)高知銀行のステーションナリーとして採用になりました。そして東北と高知が結びつき、東北に「ツクル」仕事が生まれた。このプロジェクトにより、新聞ばっぐを、ツクル「仕事が東北に広がりを見せ、売上の約半分が直接折り手に届く仕組みが出来上がった。利益こそ小さなものだが、「仕事」による収入は地域の人々の大きな活力となっている。

新聞ばっぐは資源循環商品であり、新聞ばっぐの本当の「良さ」を伝え広げていく必要がある。日本に限らず、多くの企業や人々に知ってもらうことによって小さなプロジェクトを大きな輪にしていくことを目指している。

**【NPOからのコメント】**  
新聞ばっぐという目的のもと、東北と高知が繋がり、人と人との繋がりも広がりました。そして、新聞ばっぐという資源循環の仕組みが地域活性化にも繋がることができました。

NPO法人RIVER  
畔地  
履正さん

**【企業からのコメント】**  
東北の方と接する事により、東北地域の方々にとって「本当に必要なものは何か」を知ることができました。自己満足ではなく、Win Winをを目指した取組みによる結果であると思います。

(株)高知銀行 岡田 一水さん

**◆団体紹介**  
**NPO法人 RIVER**  
四万十川を核とし、都会や田舎、それぞれの地域の持つ豊かさとは何かを考える団体。地域資源を循環させるしくみのひとつとして、しまんと新聞ばっぐを生み出し、その考え方と折り方を全国、全世界に広める活動などをしている。

**◆団体紹介**  
**NPO法人 RIVER**  
連携企業  
(2014年度実績)  
(株)高知銀行、(株)仙台銀行他多数

**◆協働の実績**  
地域の求める繋がりが(株)高知銀行に伝わり、賛同を得られ、ビジネスパートナーとして繋がったことが大きいと考えられる。

**◆協働の実績**  
地域の求める繋がりが(株)高知銀行に伝わり、賛同を得られ、ビジネスパートナーとして繋がったことができる。それが今回の大きな成果と言える。

**◆協働の実績**  
企業との連携を図るために、東北から海の手山の方方が(株)高知銀行に対して説明に来たことにより、東北の実情を直に伝えることができ、

**協働のポイントはココ!**

## ボーラーペンがつなげる 子どもの思い

企業・NPOパートナーシップ委員会と  
チャイルドラインこうち

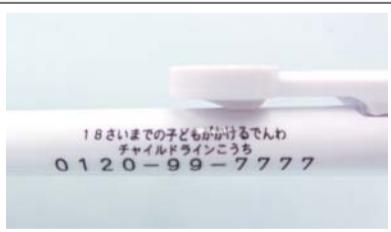
「東北の実情をじっくり企業に伝えることができた」ことがポイント!



しかし、チャイルドラインこうちの活動が一般的に認知されているかといふと十分ではないと思われる。これは多くのNPO活動に対しても言えることではないだろうか。活動のPRが十分にできなければ、認知もされず賛同者を増やすこともできない。今後はこういった課題を解決するために、より企業とNPOの結びつきを強めていくことも必要であると考えている。



チャイルドラインこうち案内



寄付つきボールペン

「NPOと企業が出会う機会があった」ことがポイント!この取り組みは、企業・NPOパートナーシップ委員会の主催する企業市民セミナーにおいて、チャイルドラインこうちが事例発表し、その活動に共感を得たゼブラ(株)や委員会の協力によって寄付つき商品の具体化が実現した。

具体的なポイントは企業とNPOが出会うきっかけの場が提供され、チャイルドラインこうちの活動や想いがしっかり企業に伝わったこと。そして委員会を中心に、取り組みを支援するサポート体制ができることが大きいと考えられる。

**協働のポイントはココ!**

【NPOからのコメント】  
(株)高知銀行 岡田 一水さん



**◆協働の実績**  
(2014年度実績)  
寄付金額  
・購入した企業  
9社・団体ほか 般個人  
売上本数 2,150本

子どもたちの声を受け入れる電話相談案内。18歳までの子どもが、何でも誰かと話したくなつたときに無料で相談できる。子どもたちの声をじっくり受けとめてあげたいという想いから、2015年5月に開設。

NPOの活動は実際に会って話をしてみると分かりませんし、協賛や寄付といつても活動実態が分からないとNPOの方々とお会いし、活動内容に接することによって企業側の理解も深まりました。

チャイルドラインこうち  
吳 静恵さん

# NPOが村の隠れた 小さな村のパスタソース

産品を価値に変える!!

（株）サニーマートとNPO法人日高わのわ会

日高村は、シユガートマトと呼ばれるフルーツトマトが特産品である。その農家を手伝いに行っているうちに、出荷されず捨てられてしまふ、もったいないトマトと出会い、平成18年からトマトソースの製造を始めた。喫茶店で限定商品としてメニューにトマトパスタを加えたところ、何年かして、ソースを持つ帰りたい声が多くなり、自社店舗のみでの販売商品として瓶に詰めたのが始まりになる。

平成22年3月、初めての商談会に参加、商談成立は無かったが、いる手ごたえを感じ、目標を「サニー・マートのトマトの横に並べよう」として次々と商談会参加、新商品の開発、勉強会開催、FBCや商人塾参加、商品の磨き上げをサニーマートバイヤーの方々からアドバイスをいただき、催事商品から定番商品になった。

県や産業振興センターの行う各種講座を受講し、食品加工製造販売のノウハウを身につけることで販路拡大に繋がり、4トンのトマトを扱うようになった。日高村の空いていた給食センターを改修してもらい、加工作業を行えるようになった。



紀ノ国屋（東京）にて試食販売

## 企業からのコメント

日高わのわ会代表安岡さんは、当初流通業界での経験が無くゼロからのスタートで、商流・物流・品質管理・表示に至るまで様々な壁にぶつかった事を覚えていました。商品力と安岡さんの熱意で、スポンサーの試食販売から始まり、今では年間200パック強の売上をコンスタンストに上げています。安定してそれだけお客様の支持を得ているという事です。今ではなくてはならない商品となっています。今後もナンバー1でなく、オンラインの商品造りを期待しています。

（株）サニーマート商品部  
商品企画バイヤー 黒岩 強志さん

## NPOからのコメント

サニーマートさんでの常設はソースを作り始めた時からの目標

で、催事商品から定番商品になるまで2年ほどかかりました。商品が売れるようになって雇用人数も増え、ミッションである就労の場の提供にもつながってきました。これまでの多くの方々との繋がりの輪をスパイラルに広げていきたいです。

NPO法人日高わのわ会  
安岡 千春さん

## 協働のポイントはココ!



### NPOからのコメント

サニーマートさんでの常設はソースを作り始めた時からの目標

で、催事商品から定番商品になるまで2年ほどかかりました。商品が売れるようになって雇用人数も増え、ミッションである就労の場の提供にもつながってきました。これまでの多くの方々との繋がりの輪をスパイラルに広げていきたいです。

NPO法人日高わのわ会  
安岡 千春さん

## ◆団体紹介 NPO法人 日高わのわ会

チャレンジしたことが、商品の品質と基準を高めるうとにつながり、県外各地や主に東京方面での品質重視のスーパー・マーケットや消費者のニーズに応えることができる商品に成長できた。

各種勉強会や組織内に専門家を招いて、知識学習を怠らなかつともポイントといえる。NPO経営、食品加工と販売技術の専門知識を学びつつ、そこで繋がった人脈を活かして販路拡大にも積極的に取り組んだ。



サニーマートでの試食販売

商品の開発実績、販売実績
トマト買付量 24年度 3.6 t
25年度 2.5 t
26年度 4.2 t

販売先も県外の問屋取引も増え12件、県内19件。翌年度までは前年度買付トマトがほとんど販売済みとなり、販路の広がりとともに買付量も増えてきた。

26年度、新商品として乾燥野菜とスープのセットを作る。好評で当初の目標4000個を上回る6000個以上に伸びている商品となる。

27年度の新商品もほとんど完成し

【雇用の場や居場所づくりの実績】

23年度常勤1名・パート2名→  
24年度パート1名増→25年度常勤2名・パート2名→26年度事務発送1名・製造3名・パート1名（障害者含む）

子育て中のお母さん達の子どもたちおり、トマトの買付量を増やすためJ-A、日高村役場、トマト部会等と話し合いを持ち進めている。

【雇用の場や居場所づくりの実績】

23年度常勤1名・パート2名→  
24年度パート1名増→25年度常勤2名・パート2名→26年度事務発送1名・製造3名・パート1名（障害者含む）

高知県内でも品質（食味・衛生）に関して最も厳しい基準を設けて

いるスーパー・マーケットで販売しているスーパー・マーケットとの目線・価値観

合わせて効果を發揮した。

どんな事情があっても働く就労の場をつくり、輪を広げていく事がミッションである。

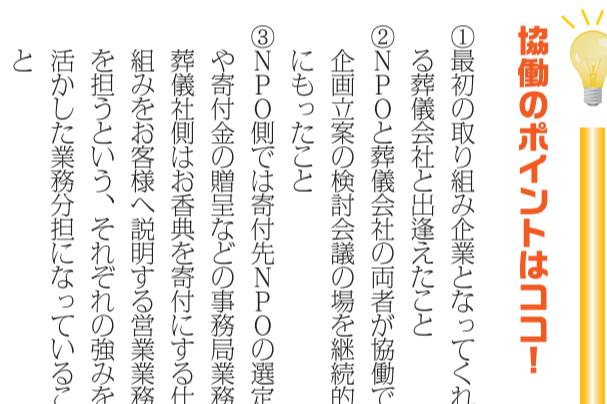
# お香典返しと寄付を組み合わせた 新しい寄付のカタチ

## 天国からの「寄付ぎふと」

寺村葬儀社と認定NPO法人NPO高知市民会議



寄付ぎふとパンフレット



飲みながら・食べながら寄付できるしくみ「寄付ぎふと」は、高知県で活動しているNPOや社会貢献に取り組む団体への寄付金を含んだ飲食メニューを、協力飲食店が提供するものです。

<b>バー・バッフォーネ</b>	<b>「インドワイン」</b>
単品4,600円 (うち100円が寄付)	単品1,350円 (うち100円が寄付)
「ジェノベーゼ」	「高知野菜のバニヤカウダ」
単品1,400円 (うち100円が寄付)	単品1,350円 (うち100円が寄付)

高知市帯屋町1-2-10 三翠ビル 1F  
電話番号:088-822-3884

### TeppanDining ミヤタヤ

<b>「ミヤ玉焼き」</b>	<b>草 や</b>
単品980円 (うち100円が寄付)	「高知野菜のバニヤカウダ」

高知市はりまや町1-11-8 アルコII 2F  
電話番号:088-885-6703

**【企業からのコメント】**  
最初話をいただいたとき、喪主の大好きなきっかけの話が来たと思いました。人生の中で寄付をしたいなと思うとき、感謝の気持ちが表れるときだと思います。会葬に来てくれる

親しい方が亡くなつた際にカタログギフトが送られてきたのを機に、故人の人となりや遺族の意志を記憶に刻むような新しいお返しのカタチを提案できないかと考え始めたことがきっかけとなった。

2010年2月に、ファンドレイジングジャパンへの参加を契機に、ファンドレイジングプロジェクトがNPO高知市民会議内に設置された。話し合いを重ねる中で、同年9月初めに「お香典を社会に生かす仕組み」を構築した。プロジェクトメンバーと寺村葬儀社の社長が

寺村葬儀社のメモリアルサービスの女性社員が、忌明け訪問をした際に、お香典返しのツールの一つとして、寄付ぎふとのしくみや社会貢献に対する取り組みを伝えていた。いたお客様は、2011年8月～2014年3月までで25件あり、寄付総額が107万円に達した。お客様から寄付先団体を指名されることもあるが、NPO高知市民会議にお

寄せられたご意見を参考に、NPOの知名度があまりないことと、寺村葬儀社でしか取り扱っていない業をスタートさせた。寺村葬儀社のメモリアルサービスの女性社員が、忌明け訪問をした際に、お香典返しのツールの一つとして、寄付ぎふとのしくみや社会貢献に対する取り組みを伝えていた。いたお客様は、2011年8月～2014年3月までで25件あり、寄付総額が107万円に達した。お客様から寄付先団体を指名されることもあるが、NPO高知市民会議にお

寄せられたご意見を参考に、NPOの知名度があまりないことと、寺村葬儀社でしか取り扱っていない業をスタートさせた。寺村葬儀社のメモリアルサービスの女性社員が、忌明け訪問をした際に、お香典返しのツールの一つとして、寄付ぎふとのしくみや社会貢献に対する取り組みを伝えていた。いたお客様は、2011年8月～2014年3月までで25件あり、寄付総額が107万円に達した。お客様から寄付先団体を指名されることもあるが、NPO高知市民会議にお

任せの方が多い。

課題としては、寄付先団体やNPO

た方に「ありがとうございました」の気持ちはどうやって社会に返していくか?その手伝いをするのが我々の仕事であります。素敵なシステムだと思ったので取り入れました。ちょっととしたきっかけを提案することによって寄付という行為に繋がるのではないかと思います。

㈱テラムラ 浦井 理恵さん

(2011年)  
2014年)

**◆協働の実績**  
**NPOからのコメント**  
NPOにとって活動資金確保が大きな課題でした。お香典返しをいたしました。NPOの社長との縁が「寄付ぎふと」だくがほとんど使うことの無い商品がたまるので、お香典返しにあてる予算を社会に生かす仕組みを考えようとした。プロジェクトチームが発足しました。プロジェクトチーと寺村葬儀社の社長との縁が「寄付ぎふと」の誕生に結びついたと思います。日常の生活行動に寄り添うことができること、分かりやすさ・透明性・情報発信です。今後も共感(讃歎)してくれるファンドレイジングの仕掛けを立ち上げることができます。大切なことは、分かりやすさ・透明性・情報発信です。今後も共感(讃歎)してくれる人を増やし「寄付ぎふと」を広めていきたいと思います。

認定NPO法人NPO高知市民会議  
東森 歩さん

**◆団体紹介**  
**認定NPO法人**  
NPO高知市民会議  
・連携企業 1社  
・寄付金額 107万円  
・利用件数 25件  
・寄付先 11団体

### 八金～やがね～

「ニラたっぷりたまご焼き」「かつおフレークいたまご焼き」「だし巻きたまご」  
単品650円(うち100円が寄付)



高知市帯屋町1-2-15 植野ビル2F  
電話番号:088-824-8895

### レストラン&カフェ ボヌール

「県民総選挙入賞  
記念ランチ(月替わり)」

単品1,500円  
(うち100円が寄付)



土佐市高岡町730-1 グランディール内  
電話番号:088-852-4393 P有り

NPO法人明日への糸・認定NPO法人カンガルーの会  
NPO法人こうち音の文化振興会・NPO法人Brain  
NPO法人スペシャルオリンピックス日本・高知  
認定NPO法人NPO高知市民会議

2014年度  
寄付先

# 会社でいらなくなつたいすや机が 社会貢献に役立つことを知っていますか？

◆協働の実績  
提供企業 約75社 提供資源 約1865点  
提供先NPO 約290団体

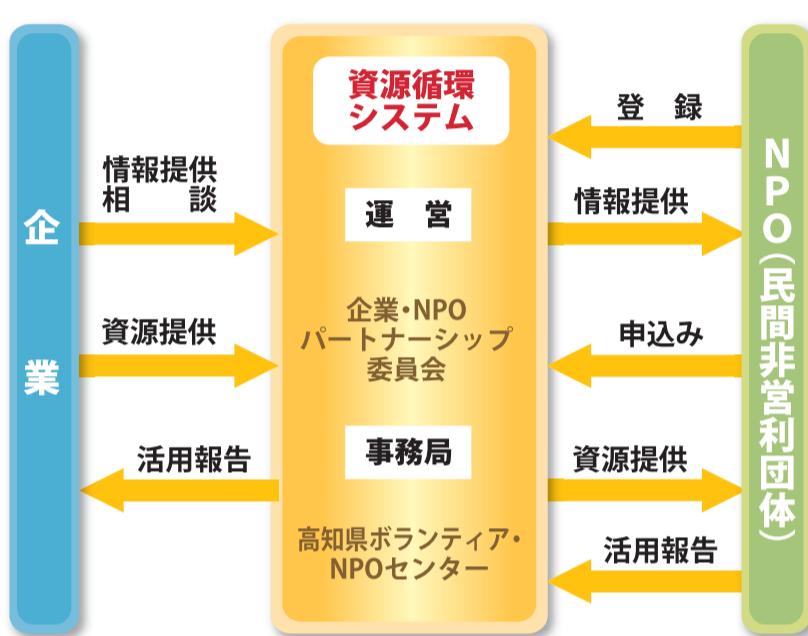
お問い合わせ  
高知県ボランティア・NPOセンター  
電話：088-850-9100  
URL：<http://www.pippikochi.or.jp>  
情報システム「ピッピネット」  
(こうちボランティア・NPO  
情報システム「ピッピネット」)

資源循環システムは、企業が持つ物品等の資源をNPOに橋渡しすることで、企業の社会貢献とNPOの運営を支援していく仕組みです。企業とNPOによる「よりよい地域社会の実現」を目指しています。「備品の入れ替えでまだ使えるいすや机、OA機器などが不要になった」「店内の催事場を地域の団体のために役立てたい」など、企業の資源を地域社会のために有効に活かしたいときほど、ぜひともご連絡ください。



## 企業・NPO資源循環システム

企業からのコメント



- ・無理のない社会貢献活動ができます。
- ・まだ使えるが、不要となった備品を再生できます。
- ・企業のアイデアを社会にアピールできます。
- ・パートナーシップが結ぶる機会づくりになりました。
- ・社会貢献がすなわち社会的信用につながります。

### 2014年度運用実績

提供企業	提供資源	提供先NPO
匿名	ガラスケース、カウンターテーブル、パーテーション 計6点	まほろばクラブ南国以上1団体
匿名	書棚、CDラック 計2点	スペシャルオリンピックス日本・高知、こうなんスポーツクラブ以上3団体
(公)高知県森と緑の会	長机、折り畳み椅子 計15点	うーたん 以上1団体
岡田会計事務所	シュレッダー計 1点	ら・ら・ら会 以上1団体
匿名	デジタル液晶テレビ 計2点	中山を元気にする会、いきいき百歳応援団以上2団体
計5社	26点	7団体



### 掲載されているNPOへのお問い合わせは…

#### 【認定NPO 法人 NPO 高知市民会議】

住所：高知市鷹匠町2丁目1-43  
高知市たかじょう庁舎2階  
高知市市民活動サポートセンター内

TEL：088-820-1540  
URL：<http://www.siminkaigi.com>  
メール：[info@shiminkaigi.org](mailto:info@shiminkaigi.org)

#### 【えんじょいんと香美】

TEL：<http://enjoint-kami.org/>  
メール：[info@enjoint-kami.org](mailto:info@enjoint-kami.org)

#### 【NPO法人土佐の森・救援隊】

住所：高知県高岡郡日高村岩目地中山940-1  
TEL：088-245-5444  
URL：<http://tosorest.exblog.jp/>  
メール：[tosa-wood@kochi.email.ne.jp](mailto:tosa-wood@kochi.email.ne.jp)

#### 【NPO法人RIVER】

住所：高知県高岡郡四万十町小野714-1  
TEL：088-285-801  
URL：<http://www.npo-river.net/>  
メール：[info@npo-river.net](mailto:info@npo-river.net)

#### 【NPO法人チャイルドラインこうち】

TEL：090-2788-9977  
メール：[kochi9977childline@docomo.ne.jp](mailto:kochi9977childline@docomo.ne.jp)

#### 【NPO法人日高わのわ会】

住所：高知県高岡郡日高村沖名3-2  
TEL：088-244-004  
URL：<http://wanowa-hidaka.com/wp/>  
メール：[hidakawanowa@ybb.ne.jp](mailto:hidakawanowa@ybb.ne.jp)

### 会議室の貸出しをしています

ボランティア・NPO活動に必要な会議室を貸出し、活動しやすい環境づくりをしています。

#### 高知県ボランティア・NPOセンター

- 利用料：無料
- 定員：20名程度
- 利用時間：9:00～22:00（年末年始を除く）
- 申込方法：あらかじめ電話で予約後、指定の申込書に必要事項を記入し、事前にFAXなどでお申込みください。
- 電話：088-850-9100

#### 高知市市民活動サポートセンター

- 利用料：大会議室（30名程度、400円／1時間）  
小会議室（18名程度、240円／1時間）  
※公益性のある活動であれば無料。
- 利用時間：月～金曜日 10:00～21:00  
土曜日 10:00～18:00  
(日・祝・年末年始を除く)
- 申込方法：利用日の3ヵ月前からの受付で、1団体・グループにつき3回まで予約できます。  
※初めて利用する場合は、登録が必要です。
- 電話：088-820-1540

